

令和 7 年 6 月 2 5 日

報道機関各位

長岡市環境部環境政策課長
長岡市消防本部総務課長



再エネ導入とエネルギーの地産地消を目指す！

太陽光発電とガスコージェネレーションによる エネルギー供給契約を締結

長岡市は、2050 年カーボンニュートラル実現に向け、さまざまな取り組みを進めています。

令和 5 年度に募集を行った、再生可能エネルギー普及促進に向けた「公共施設や市の未利用地における太陽光発電設備等の導入に関する提案」には 5 件の応募がありました。今回、この提案の中から、北陸ガス㈱提案による消防本部庁舎における太陽光発電と「ガスコージェネレーション（以下、「CGS」）」を組み合わせたエネルギー供給事業を採用し、契約を締結しました。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

消防本部庁舎におけるエネルギー供給契約を締結

- 1 契約の相手方 北陸ガス株式会社（新潟市中央区東大通 1－2－23）
- 2 契 約 日 令和 7 年 6 月 2 4 日（火）
- 3 導入施設 長岡市消防本部庁舎（千歳 1－3－100）
- 4 導入設備

導入設備 発電量	契約方法	事業開始時期 （事業期間）
太陽光発電設備 75.075kW	電力供給契約（PPA ^{*1} 方式）	令和 7 年 12 月予定 （事業開始から 20 年間）
CGS ^{*2} 150.00kW	エネルギーサービス（ES）契約 ^{*3}	令和 7 年 12 月予定 （事業開始から 15 年間）

事業イメージおよび、注記（※）については別紙を参照。

5 導入効果

再生可能エネルギーである太陽光と地域資源の天然ガスを活用した発電・排熱システムを合わせて運用することで、従来と比較して、約 100 万円/年の経費削減と 56 トン/年の CO2 の排出量削減が見込まれます。

6 その他

北陸ガス㈱が消防本部庁舎に PPA 方式で設置する太陽光発電設備に対し、市は、環境省の重点対策加速化事業を活用し設置費用の 1 / 2 を補助予定。

問い合わせ：

（脱炭素の取り組み・環境省補助金関係について） 環境政策課 近藤 Tel 0258－24－0528
（契約・設備関係について） 消防本部総務課 近藤 Tel 0258－35－2192

※1 PPA (Power Purchase Agreement: 電力購入契約)

発電事業者(PPA 事業者)が、太陽光発電設備を需要家の敷地等に発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を供給する仕組みであり、「第三者所有モデル」とも呼ばれる。

※2 CGS

ガスエンジン等により電力と熱を供給するシステム。電力と排熱の両方を有効利用することでCO2排出量の削減、省エネルギーによる経済性向上が図られる。通常時は電力会社からの電力とCGSの発電電力を系統連系し、需要家の電力需要の一部をまかない、災害などで電力会社からの電力供給が停止した場合は、CGSを自立起動し、電力供給を行うことが可能。

※3 エネルギーサービス (ES) 契約

サービスを提供する事業者が、自身の費用により利用者の需要に合わせて最適な設備・システムを設計・設置、所有した上で、事業開始後は遠隔監視やフルメンテナンステナンス対応などを行い、最適運用支援を実施するもの。

【事業イメージ】

